

なかつか 亮



マンション売れない

「大崎駅前再開発」は見直しを

—品川区議会「決算」議会終わる—



高さ130m
大崎西口中地区再開発事業(左)

約一ヶ月余の「決算議会」が終了しました。共産党は「くらし守れ、福祉充実」を前面に掲げ奮闘。最終日は大崎駅周辺再開発事業の見直しを求めました。先の総選挙で自公政権は退場。代わりに誕生した新政権は「コンクリートから人へ」と、巨大ダムや道路建設など大型公共事業の見直し・凍結を発表しています。品川でも「ハコモノ」の見直しは急務です。

569億円

年末に向け雇用

破壊が加速。生活不安が強まっています。

しかし、こうした状況などお構いなしに、莫大な税金が投入され建設が進むのが大崎駅周辺再開発。広さ60分の「ハコモノ」事業です。この公共事業は、今までに総額569億円の税金が補助金として投入。

その規模は都内でも有数の巨大公共事業です。

例えば特養では

金額が大きくイメージが難しいですが、例えば八潮特養ホーム(定員80名)の建設費は18億5千万円。認可保育園建設(定員100名)は2億6千万円。小中学校30人学級実施は年7億円です。から5百億円とは、とてつもなくすごい金額です。

品川区の説明は

区はこの事業を「無秩序な開発を防止するため」「東京の副都心の位置づけ」と説明。最近では「国際都市品川の表玄関として魅力あるまちづくり」と説明します。

マンション売れず

こうした再開発事業ですが完成したマンションの売れ残りが起き、事業そのものが成立しない状況が生まれています。

今年10月に、税金79億円を補助金として投入し完成した、大崎西口中地区再開発事業（棟名：大崎ウエストタワーズ 1084戸 表の写真）。ひと部屋約7000万円の高級タワーマ

ンションですが、第1期販売分のうち、約6割しか売れていない状況が決算議会で判りました。

税金を投入し、進めてきた品川区の責任は重大です。

福祉・教育こそ

しかし、品川区に反省の弁はありません。今までに再開発で計2683戸のマンション建設（下記参照）。今後も含めると合計5200戸ものマンション建設を推進する計画です。

今こそ「ハコモノ」事業は、根本から見直し、福祉・教育にこそ力を入れるべきです。

皆さまは、いかがお考えになりますか。なかつか亮

「大崎駅前再開発」で完成した「ハコモノ」

地区計画	完成した主な地区名	主な建物名/用途	住宅戸数
大崎駅東口第1地区	大崎ニューシティー	業務商業	0
大崎駅東口第2地区	ゲートシティー大崎	業務商業、工場、住宅	157
大崎駅東口第3地区	アートヴィレッジ大崎	業務、住宅	583
東五反田二丁目地区	オーバルコート大崎	業務、住宅	343
東五反田二丁目第2地区	東京サザンガーデン	業務、住宅	350
大崎駅西口地区	大崎駅西口中地区	住宅	1084
	大崎西口E東地区	業務商業	0
	大崎駅西口E南地区	住宅、宿泊	166

今後は北品川5丁目地区や大崎駅西口南地区など2500戸程が計画。合計約5200戸もの高層マンション建設とは…。こんな「ハコモノ」は見直しを。

次回の「気軽な町の無料法律相談会」のお知らせ

11月6日(金) 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所
 弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください
 連絡先 昼：区議控室 **5742-6818** 夜：事務所 **3773-3231**
 急なご相談やお困りごとなどは、いつでもご連絡下さい。まずはお電話を。